

スタッフの声

札幌ふるさと市場
市民のひろばまつり

私たち、NPO 法人赤平市民活動支援センターにとって、9月は大忙しの毎日でした。9月2日(土)、3日(日)は、支援センターが声かけをして発足した「赤平食を考える会」が札幌大通り公園で開催されたに参加しました。そこでは「がんがん鍋」が予想以上に道内外の観光客の皆さんからご好評いただきました。

また、9月10日(日)には、“健康・環境・食”をテーマに、「市民のひろばまつり」を開催し、こちらも多くの皆さんにご来場いただきました。

それぞれに携わった支援センタースタッフが、それぞれの思いを語らせていただきます。



「札幌ふるさと市場」での1コマ

★札幌ふるさと祭りは、若者に絶大な好評を得たことに、驚きと同時に自信を得た。赤平出身者だけでなく、産炭地出身者からも激励を受け非常に嬉しかった。市民の広場まつりで当日は、若干淡泊に作ったので、年配者にも好評で予想を上回る販売だった。両方の行事とも、お手伝い頂いた方に感謝、感謝 (NPO スタッフ・神田 隆)

★やさしき修道院は、赤平では 頼りになる支援センターの事です
(NPO スタッフ・吉田建法)

★公民館が賑わって良かったなあ。楽しい時間をありがとうございました！
(NPO スタッフ・多田 豊)

★大熊さんの食育講座に参加された方から、どう見ても高齢者の方が多く、今子育てしているお母さんがたにぜひ聞いて欲しかったですねと・・・
* あきらめてはいけません、孫との会話に話して見てはと伝えておきました。
(NPO スタッフ・尾堂静子)

★フリーマーケット大盛況でした、ありがとう！(母子会・池田美喜子)

★みんな、ありがとう！(NPO スタッフ・高橋 哲)

★訪れた みんなの笑顔で 盛夏閉じ(NPO 職員・川崎 哲)

★札幌うまいもの市場に参加して～去年の1月から始まったうまい物探しは赤平「がんがん鍋」を生みそして札幌でのデビューを無事果たしましたがあの凄い人並みと食の好奇心を満たす購買力を考えると、これからも 試行錯誤研究の余地はまだまだ有り、やる気の出る事業だと思えました。お疲れ様でした。
(NPO スタッフ・新出郁子)

★ひろばまつり初めてのこころみの「オークション開催」集まった市民の興味津々のキラキラ光った眼差し、楽しい一時・・・勇気を出して1円～10円の声声、激戦激戦ノリの乗った、本当に深く刺激を頂きました。来年も又、実施して下さいとの声も聞こえました。(NPO スタッフ・米森康子)